

Overview: 私たちは、私たちの穀物のささげ物としてのキリストを食べる必要があります。それは、彼が私たちを通して、神性によって豊かにされた彼の人性において、この地上で再び生きるためです。ルカによる福音書が明らかにしているのは、穀物のささげ物によって予表される主イエス(人・救い主)の神・人の生活です。

私たちは、第一の形態の穀物のささげ物、すなわち小麦粉(個人のキリスト)を食べるだけでなく、第二の形態の穀物のささげ物、すなわち、輪型の平らなパン(団体のキリスト、召会)をも食べます。私たちは、穀物のささげ物の召会生活をする事によって、共にブレンディングされて、一つからだとなる必要があります。穀物のささげ物としてのキリストにあずかることによって、私たちはイエスの人性を、主の回復のために、霊的戦いのために、神の王国のために持つことができます。

IV. 穀物のささげ物としてのキリストにあずかることによって、私たちはキリストの複製となります。すなわち、団体的な穀物のささげ物としての召会となります:

A. ローマ第8章が啓示しているのは、キリストにある信者としての私たちが、穀物のささげ物としてのキリストの複製であるべきであるということです。私たちは、キリストのコピー、複製であるべきであり、こうして彼であるのと同じであるべきです。

B. 私たちは穀物のささげ物としてのキリストを食べるなら、キリストで構成され、それによって穀物のささげ物としてのキリストの拡大となります。すなわち、団体のキリストとしての召会、団体的な穀物のささげ物となります。

C. 私たちの日ごとの供給である穀物のささげ物は、キリストであるだけでなく、キリストと召会生活です:

1. 私たちの飢えが満たされるのは、キリストによってだけでなく、召会生活によってでもあります。ですから、私たちはキリストから養いを得るだけでなく、召会生活からも養いを得るべきです。

2. 私たちは、第一の形態の穀物のささげ物、すなわち小麦粉(個人のキリスト)を食べるだけでなく、第二の形態の穀物のささげ物、すなわち、輪型の平らなパン(団体のキリスト、召会)をも食べます。

D. 私たちは、穀物のささげ物の召会生活をする事によって、共にブレンディングされて、一つからだとなる必要があります:

1. 小麦粉の穀物のささげ物が表徴するのは、個人のキリストと個人のクリスチャンとの両方です。輪型の平らなパンの穀物のささげ物が表徴するのは、団体のキリスト、キリストと彼のからだ(召会)です。

2. 穀物のささげ物は、神のエコノミーを完成するためのブレンディングの予表です:

a. 私たちは、からだの生活、すなわち、穀物のささげ物の召会生活の中でブレンディングされるために、十字架を経過し、またその霊によって、キリストのからだのためにキリストを人に分与しな

I. 穀物のささげ物は、人性におけるキリストを予表し、それは神のための食物であり、また特に神と交わりを持って神に仕える人たちのための食物です。

II. 私たちは、私たちの穀物のささげ物としてのキリストを食べる必要があります。それは、彼が私たちを通して、神性によって豊かにされた彼の人性において、この地上で再び生きるためです:

A. 私たちの穀物のささげ物としてのキリストを食べることによって、私たちは穀物のささげ物としてのキリストの複製、複写、拡大となります。この穀物のささげ物は、キリストの死を通して復活の中で、神性をもって油塗られた人性から構成されています。

B. 私たちの穀物のささげ物としてのキリストを食べることによって、福音書の中で生きたこのすばらしい、卓越した、奥義的な神・人である彼を、私たちは生き、大きく表現することができます。

III. ルカによる福音書が明らかにしているのは、穀物のささげ物によって予表される主イエス(人・救い主)の神・人の生活です:

A. ルカによる福音書で私たちが見るのは、神が創世記第1章と第2章で持とうとした種類の人です:

1. 神の定められた御旨は、一人の団体の神・人を持って、ご自身を表現させ代行させることです。

2. キリストが肉体と成ったことは、人を創造した神の定められた御旨と密接な関係があります。

3. 神・人である主イエスは、神聖な属性すべてを持つ神聖な本質と、人性の美德すべてを持つ人性の本質とから構成されています。

4. 救い主が胎に入ったことは、神が肉体と成ったことであり(神と人とのミングリングであり、穀物のささげ物によって予表される)、神聖な力だけによって構成されているのではなく、神聖な本質が人の本質に加えられることによって構成されており、こうして神性と人性という二つの性質を持つ神・人を生み出しています:

a. 人・救い主は、真の人であり、真実な人性と完全な人性の美德を持っており、人の救い主となる資格があります。

b. 彼はまた神全体でもあり、真の神性と卓越した神聖な属性を持っており、それは彼が人を救う能力を強め、確かなものとし、c. 人・救い主は地上にいたとき、神聖な属性と人性の美德とのミングリングである生活をしました。これが最高水準の道徳です。d. キリストは、彼のかぐわしい美德を通して、彼の人性において、満ちあふれる神の豊富な属性を表現しました。このかぐわしい美德によって、彼は人々を引きつけ、とりこにしましたが、それは肉体の中で彼の人性の命を生きることによってではなく、復活の中で彼の神聖な命を生きることによってでした。

e. 神聖な性質とその属性は、主の人性とその美德の中で表現されました。こういうわけで、主イエスの生活は、人に属するもので神聖であり、また神聖で人に属するものでした。

B. ルカによる福音書が明らかにしているのは、神聖な属性を伴う人性の美德の中にある人・救い主の務めです。

C. ルカによる福音書において啓示されているように、主イエスは最高水準の道徳を持っていました:

1. 最高水準の道徳は、神によって要求される水準の生活、すなわち、神聖な属性が人性の美德の中で表現される生活です。2. 最高水準の道徳は、人・救い主である主イエス・キリストの生活です。彼の生活は、神聖な属性を持つ神と、人性の美德を持つ人から構成されていました。3. 人の命が神聖な命で満たされており、人性の美德が神聖な属性によって強められ豊かにされている生活が、私たちが最高水準の道徳と呼ぶものです。4. 神は、最高水準の道徳にしたがっている生活の中で表現されます。

V. 穀物のささげ物としてのキリストにあずかることによって、私たちはイエスの人性を、主の回復のために、霊的戦いのために、神の王国のために持つことができます:

A. 主の回復のために、私たちはイエスの人性を必要とします:

1. 召会の墮落と社会の腐敗のゆえに、私たちは主の回復のために主の人性を必要とする状況にあります:

a. このような墮落した時代に主の回復を持つために、私たちは正しい人性を必要とします。

b. この墮落した世代において立つために、私たちがおもに必要とするものは、神聖な力ではなく、イエスの人性です。c. 主は回復の働きを行なっており、この回復の中で主が必要としているのは、主を自分の人性とする人々です。

2. 召会の墮落と社会の腐敗のただ中で、私たちがここにいるのは主の回復のためです。このために、私たちはイエスの人性を必要としており、そして神の定められた御旨を完成します。

B. 霊的戦いのために、私たちはイエスの人性を必要とします:

1. 敵と聖徒たちとの間の霊的戦いは、おもにイエスの人性にかかっています。

2. 召会が霊的戦いを戦うために、私たちはみな正しい人性を必要とします。

3. 敵に対して戦うために、私たちはイエスの人性を活用しなければなりません。

4. 私たち自身の中には、正しい人性はありません。しかし、私たちは内側にキリストを持っており、そして彼の人性は、霊的戦いのための正しい人性です。

C. 神の王国のために、私たちはイエスの人性を必要とします:

1. 神が地上で王国を持つためには、彼の贖われ再生された人が、イエスの人性を持ち、また正しい人性の美德を持つ必要があります。

ければなりません。b. 交わりは、私たちをブレンディングします。すなわち、私たちを調節し、私たちを調整し、私たちを調和させ、私たちをミングリングし、私たちの区別を失わせ、召会の生活と働きとに個人の色彩を帯びさせることから私たちを救います。それによって、キリストがすべてとなり、すべての中にいることができるようになります。

2. 私たちはイエスの人性を持つとき、私たちは神の王国の中にいるだけでなく、私たちが神の王国となります。
3. 勝利者たちは、彼らの中に造り込まれたイエスの人性を持つことによって、資格づけられ、キリストと共に王として支配します。

第一日: レビ2:1 さて、だれかが穀物のささげ物をささげ物としてエホバにささげるとき、その人のささげ物はきめの細かい小麦粉によるものでなければならぬ。彼はその上に油を注ぎ、その上に乳香を加えなければならぬ。

ヨハネ6:57 生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。

創世記1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、海の魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう」。27 そして、神は人を彼ご自身のかたちに創造された。すなわち、神のかたちに人を創造し、男と女に彼らを創造された。

第二日: ルカ1:35 御使いは彼女に答えて言った、「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたを覆うでしょう。それゆえ、生まれる聖なるものは、神の子と呼ばれます。」

2:52 こうしてイエスは、知恵と身の丈においても、また神と人の前で彼にあって現された恵みにおいても、増し加わっていった。

コロサイ2:9 なぜなら、キリストの中には、神たる方の全豊満が肉体のかたちをもって住んでいるからです。

第三日: ルカ2:40 幼子は成長して強くなり、知恵に満ち、神の恵みが彼の上にあった。

マタイ5:48 だから、あなたがたの天の父が完全であるように、あなたがたも完全でありなさい。

ルカ6:35 しかし、あなたがたの敵を愛しなさい。また、何の見返りも期待しないで善を行ない、また貸してあげなさい。そうすれば、あなたがたの褒賞は大きいし、あなたがたはいと高き方の子たちとなる。なぜなら、彼は恩を知らない者にも邪悪な者にも、情け深いからである。

第四日: レビ2:3 その穀物のささげ物の残りは、アロンとその子たちのものである。それはエホバの火によるささげ物の最も聖なるものである。

I コリント10:17 一つパンであるからには、わたしたちは数が多くても一つからだなのです。それは、わたしたちがみなこの一つパンにあずかるからです。

ローマ8:11 そして、イエスを死人の中から復活させた方の霊が、あなたがたの中に住んでいるなら、キリストを死人の中から復活させた方は、あなたがたの中に住んでいる彼の霊を通して、あなたがたの死ぬべき体にも、命を与えてくださいます。

第五日: ヨハネ12:24 一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。

II テモテ1:9 神はわたしたちを救い、聖なる召しをもって召してくださいました。それはわたしたちのわざによるのではなく、彼ご自身の定められた御旨と恵みによります。キリスト・イエスの中で、もろもろの時代の前にわたしたちに与えられていたこの恵みは。

第六日: ローマ14:17 なぜなら、神の王国は食べ飲みすることではなく、義と平和と聖霊の中の喜びとであるからです。

啓示録1:9 わたしヨハネは、あなたがたの兄弟であり、イエスにある患難と王国と忍耐とに共にあずかっている者であるが、神の言とイエスの証しのゆえに、バトモスと呼ばれる島にいた。

ヘブル2:14 こういうわけで、子供たちが血と肉にあずかっているのも、同様に彼ご自身も同じものにあずかられたのです。それは、彼が死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼすためであり、

《預言の準備》

経験①: 召会生活は、天使のような生活ではなく、人性に満ちた生活である

神はあらゆる地方で穀物のささげ物を持つことを望んでおられます。神は、あらゆる地方召会が穀物のささげ物となり、神を満足させ、日ごとに聖徒たちを完全に供給することを願っておられます。

私たちの飢えが満たされるのは、キリストによってだけでなく、召会生活によってでもあります。召会生活は私たちを満足させます。なぜなら、召会生活は団体の穀物のささげ物であり、最高の分け前は神のためであり、残りは私たちのためであるからです。ですから、私たちは召会生活によって、また召会生活をもって養われます。召会生活は穀物のささげ物であり、私たちの日ごとの供給となります。穀物のささげ物の召会生活のゆえに、ハレルヤ！

召会生活は天使のような生活ではなく、人性に満ちた生活です。しかしながら、あるクリスチャンは、天使のようになるとすべきであり、もはや人のように生きるべきではないと告げられてきました。この観念は完全に間違いです。…召会生活のために、私たちは人である必要があります。しかしこの人性は、聖霊から分離されたものであるべきではありません。そうではなく、それは聖霊とミングリングされており、聖霊が上に注がれた人性であるべきです。言い換えれば、召会生活のために、私たちは油塗られた人、その霊によって、その霊をもって油塗られた者となる必要があります。

穀物のささげ物には個人の面があり、また団体の面もあります。今日キリストは、個人的な方法で生きておられるだけではありません。彼はまた彼のからだ、召会と共に生きておられます。キリストは神の御前に団体的な方法で生きておられます。彼はかしらであり、彼のからだとその肢体を持っておられます。ですから、輪型の平らなパンの形をした穀物のささげ物に、私たちは召会生活を持つのです。

輪型の平らなパンの穀物のささげ物を持つために、私たちは油と混ぜ合わされたきめの細かい小麦粉を必要とします。小麦粉と油のミングリングは練り粉を生み出します。練り粉はかまどで焼かれて輪型の平らなパンとなります。この輪型の平らなパンは召会生活の象徴です。この象徴は、最終的にキリストの命と私たちの個人のクリスチャン生活が総合計となり、この総合計が召会生活であることを示します。

中高生編

1960年代後半から1970年代前半に、アメリカでヒッピーが流行しました。彼らは、物質的な繁栄を求めず、勉強もせず、楽な生活をしていくほうが、あくせく働くよりいいと考える人たちです。このような風潮が召会生活にも入って来ていた時、リー兄弟は大学を休学してヒッピーのような生活をしていた兄弟姉妹に、大学に戻って大学を卒業するように、また大学を卒業したら、可能であれば大学院で修士号を取得するように、さらに修士号を取得したら、可能であれば博士号を取得するために、さらに勉強するように勧めました。

中高生にとって最も重要なことは、勉強することです。第二番目は、学校生活の中で、先生と、またクラスメイトと良い人間関係を築き、チームで何かに取り組むことを学ぶことです。これらのことを煩わしいと考え、いい加減に扱ってはいけません。あなたは、自分が将来お金持ちや大学の教授になりたいわけではないので、一生懸命勉強する必要がないのではないかと、考えてはいけません。このように考えることは、あなたが現実の生活から逃避して、天使のような生活をしたいと願うことです。ヒッピーの風潮は、この天使のような生活をする願望と通じるものです。正常な人は、朝早く起き、正しく食べ、正しく学び、正しく働き、正しく就寝します。あなたは、神が願っているのは正常な人であることを認識すべきです。正常な人間生活を否定するあらゆる思想は、サタンからやって来ます。サタンの目的は、あなたが神のエコノミーについて役に立たないようにすることです。天使には、日常生活の労苦はありませんが、神が欲しているのは天使ではなく、正常な人です。正常な中高生として、あなたは毎日少しずつ、正常に労苦して勉強する必要があります。

経験②: 霊的な戦いのためのイエスの正常な人性

私たちは真の人としてここにいることをこの宇宙に宣言し、さらには告げ知らせなければなりません。私たちは団体の人としてここにおり、イエスを私たちの人性としています。これは敵を恐れさせます。試みる者は主イエスに来て言いました、「もし、あなたが神の子であるなら…」。しかし、主イエスはご自身を人と呼ぶことによって答えました(マタイ 4:3-4)。それが敵を恐れさせました。私たちは「イエス的な」人でなければなりません。主の回復における召会のあらゆる肢体は正常な人でなければならず、さらには「アカシア材の」人でなければなりません。これは強い証しとなり、敵の口は封じられるでしょう。

敵と聖徒たちとの間の霊的戦いは、それほど神聖な力にあるのではなく、正常な人性にあります。霊的戦いのために、私たちはイエスの人性を必要とします。敵に対して戦うために、私たちは日常の歩みの中でイエスの人性を活用しなければなりません。私たちの家庭生活はイエスの人性を必要とします。召会の聖徒たちの間で、私たちはイエスの人性を必要とします。言い換えると、もし私たちが人性において正常でないなら、私たちがサタンを打ち破ることは不可能であるということです。私たちはすでに打ち破られています。

私たち自身ではそのような人となることはできませんが、彼は私たちの中でそのような方であり、彼の人性は霊的戦いのためにとても正常な人性です。私たちが神にささげる穀物のささげ物は、そのような人性から成っています。

在職青年編

ダニエルの実例を見て、あなたは、ビジネス・ライフが戦いの生活であることを認識してください。ダニエル6:3 このダニエルは、大臣や太守の間で際立って優れていた。それは、彼の中に優れた霊があったからである。王は彼を全国の上に立てて治めさせようと考えた。4 そこで、大臣や太守たちは、ダニエルに対する非難の根拠を国政から見いだそうとしたが、非難や落ち度の根拠を何も見いだすことができなかった。それは彼が忠信であって、何の怠慢も落ち度も彼には見いだされなかったからである。7 「…王国のすべての大臣、長官と太守、参謀と総督たちは、王が一つの法令を制定し、禁令を堅く定めてくださることを共に相談しました。すなわち三十日のうちに、王よ、あなた以外のいかなる神にも人にも、祈願をする者はすべて、獅子の穴に投げ込まれるというものです。…」10 さて、ダニエルはその文書が署名されたことを知って、自分の家に行った。彼は彼の上の部屋でエルサレムに向かって窓を開けていた。そして日に三度ひざまずき、彼の神の御前に祈り、感謝をささげた。彼は以前から、いつもそのように行っていたからである。13 そこで、彼らは答えて王の前で言った、「ユダからの捕虜の一人、ダニエルは、王よ、あなたと、あなたの署名された禁令を尊ばず、日に三度、祈願をささげています」。16 そこで、王は命令したので、彼らはダニエルを連れて来て、獅子の穴に投げ込んだ。王は応じてダニエルに言った、「あなたがいつも仕えているあなたの神が、あなたを救ってくださるように」。

サタンは墮落した人を用いて、何とかしてあなたの信仰と召会生活を破壊しようとしています。あなたが正常であれば、必ずサタンから攻撃を受けるでしょう。しかし、主を賛美します。神はダニエルを救い出したように、あなたを救い出すことができます。重要なことは、あなたが正常な人として勤勉に働く証しを持つことと、反対を恐れず、信仰を保持し続けることです。

22 私の神は彼の御使いを遣わして獅子の口をふさがれたので、それらは私を傷つけませんでした。それは、彼の御前で私に罪が見いだされず、王よ、あなたの前でも、私は何の悪も行なわなかったからです。23 そこで、王は彼のことで大いに喜び、ダニエルを穴から出すようにと命じた。そこでダニエルは穴から出されたが、彼には何の傷も見いだされなかった。それは、彼が自分の神に信頼していたからである。24 王は命じて、ダニエルを訴えた人たちを連れて来させ、彼ら、その子たち、その妻たちを、獅子の穴に投げ込ませた。彼らが穴の底に達しないうちに、獅子は彼らに飛びかかり、その骨をすべてかみ砕いた。

1. 試れんのなかでも、日々イエスしよくせば、
 ひとなるイエスーが わがすべてとなる。
 食べる、食べる、イエス食べれば、
 かれのじんせいで、われは満たされる。

2. わが人性がイエスと なるまでイエス飲もう
 あふれながらまで、さらにイエスを飲もう。
 飲め、飲め、イエス、さらに飲めば、
 かわきはいやされ、主のじんせい持つ。

3. かみのご計かくが かんせいするまで、
 召かいが新じんを 表現すまで食べる。
 かねで、はん芻し、素祭なるイエス、
 集かいの天まくに 持ち寄りささげる。

1. Let us eat Jesus every day,
 Eating His flesh in such a way
 That in the trials great or small
 He as a Man will be our all.
 Eat, eat more of Jesus!
 Eat, eat more of Jesus!
 Why should we undernourished be
 When we have His humanity?

2. Let us drink Jesus till we see
 That we are human, Jesusly!
 Till rivers flood the barren ground
 And quench the thirst of all around.
 Drink, drink more of Jesus!
 Drink, drink more of Jesus!
 Why should we ever thirsty be
 When we have His humanity?

3. We must eat Jesus till God can
 Have the fulfillment of His plan—
 One man expressed for all to see,
 One church in each locality.
 We'll masticate Jesus!
 We'll masticate Jesus!
 Then to the tent of meeting bring
 Jesus, our real meal offering.

1. 我们天天吃主耶稣，以祂人性作为食物，
 “人之中人”应付所需，任何试炼都不足惧。
 更多吃主耶稣！更多吃主耶稣！
 祂的人性丰富超特，只管吃祂，何必挨饿。

2. 我们饮与耶稣的灵，有分于祂拔高人性，
 直至流出活水江河，滋润多人，解除干涸。
 更多喝主耶稣！更多喝主耶稣！
 祂的人性丰富超特，只管喝祂，何必干渴。

3. 天天吃主，消化吸收，使神计划得以成就—
 各地召会得着建立，一个新人显于全地。
 天天吃喝耶稣！天天吃喝耶稣！
 将祂丰富带到会幕，献作素祭，神，人满足。